

「感じ」「動き」「かわる」…田平東小は今年度創立150周年!



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和6年11月25日 文責:校長 森川 稔



秋本番!

気温もぐっと下がり、秋の深まりとともに冬の足音も聞こえてくるようです。学校全体で取り組む“フィットネスチャレンジ”では、仲間とともに運動する楽しさ、達成感を味わい体力の向上を目指しています。今回子どもたちが挑戦したのは「チャレンジキャッチボール」です。学年ごとに決められた距離をあけて二手に分かれ、3分間で何回ボールを投げたりキャッチしたりできるか、その回数で自分たちの達成目標を目指します。これまでも体育の授業等で練習してきましたが、全校で一斉に取り組んだ1回目は、さっそく新記録が出た学年もあり、お互いに励ますなど声を掛け合う姿も見られ、とても盛り上がりました。先週金曜日に行った2回目では、さらに記録を更新することができた学年も出ました。全校で実施するのはこれで最後ですが、今後も学年ごとにチャレンジを続けてほしいと思います。



また、来月13日に予定している持久走練習に向けても、毎朝登校すると元気に運動場を走っている姿が見られます。体育科の指導内容としては、

【1・2年生】

(一定の速さでのかけ足)「無理のない速さでかけ足を『2～3分』程度続けること」

【3・4年生】

(一定の速さでのかけ足)「無理のない速さでかけ足を『3～4分』程度続けること」

【5・6年生】

(時間やコースを決めて行う全身運動)「無理のない速さで『5～6分』程度の持久走をすること」

と明記されており、他との比較ではなく、便宜上距離は決めますが、自分自身が設定した目標タイムにおいて無理のない速さで走り続けることが大切です。朝から一生懸命走ってきたある子が「校長先生、走ったら顔から煙が出ています!」と報告に来てくれました。湯気だった水蒸気を“煙”と表現する子どもの感性がかわいいですね。ただ汗の始末と十分な水分補給をして風邪を引かない元気な体を作ってほしいと思います。



津軽三味線の音色に魅了されました

迫力のある三味線の音色が体育館中に響き渡りました。今年度2回目のスクールコンサートで津軽三味線「村上三弦道」の皆さんに来校いただき演奏していただきました。子ども

もたちは、三味線の名前は知っていても、実物を見たり音色を聴いたりするのは初めての子がほとんどでした。三人の息の合った演奏が始まると、いきなりオープニングの力強さに圧倒されました。

コンサートの合間には、代表の児童がいろいろな種類の三味線を触らせてもらい、その感想をみんなの前で述べたり、5月の運動会で披露したソーラン節を生演奏で踊ったり、代表児童による即興演奏を体験させてもらったり、いろいろな活動をさせていただき、ホンモノに触れるとても貴重な経験ができました。



お子さんの様子、いかがですか？

11月も最終週です。2学期も残りひと月を切りました。10月下旬に先生方へ「11月は気をつけて下さい」と話しました。これは今年度に限らず毎年同じような言葉がけを行います。今の学年での学校生活にすっかり慣れた子どもたちは、本当の意味で今の学年を満喫している。それが11月です。でもそれは、同時に「**緊張感が緩む時期**」であることも意味します。

今月は授業参観がなかったため、多くの保護者の方がご来校なさった学習発表会だけではよくおわかりにならなかったかもしれませんが、先生方へは学級の様子を振り返るポイントの例として以下のようなことを話しています。

- ・シューズや靴のかかとを履きつぶしていないか。(履きつぶしたような形跡がないか)
- ・机の上の学習用具、筆箱の中身はそろっているか。
- ・教科書やノート等、同じものをずっと忘れていないか。
- ・削った鉛筆を使っているか。ぼろぼろの消しゴムを使っていないか。
- ・先生方や発表する友達の様子を見ているか。話の途中で邪魔せず最後まで聴いているか。
- ・ランドセル置き場や、机の横、教室のフックの様子はどうか。
- ・学校に必要なものを持ってきていないか。

よろしければ、上記のことについて各ご家庭でもお子さんと話をされてみて下さい。学校と家庭とが連携して足並みをそろえ、残りひと月の2学期を過ごしていきたいと考えています。引き続きご協力をお願いします。

田平東小HPはこちらから→

